

2024 年度 台湾研修 報告書

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 氏 名 松浦 芽唯

台湾研修概要

日程：2024 年 8 月 25 日～8 月 31 日

研修内容：元培医事科技大学の学生との交流、元培医事科技大学放射線技術学科の見学、中国語講座の受講、新竹國泰醫院や台安醫院の訪問、BigCity・中正記念堂・西門町・饒河夜市・九份・台北 101 の観光 等

本研修に参加した目的と目標

目的：病院や観光地を訪問し、特色や日本との文化の違いを知ること。

目標：日本人同士で固まらず、学生ボランティアと積極的にコミュニケーションを取ること。

学内研修で学んだこと

まず自分の言葉で話しかけてみることや根気強く相手に伝えようとする事の大切さを強く実感しました。初めは自分の英語力では表現できないと話しかけるのを諦めてしまったり、相手に伝わるよう正確な単語を出すことに囚われ文章を組み立てるのに時間がかかったりと、萎縮してしまいなかなか会話を続けることができませんでした。ですが、台湾の学生が積極的に話かけてくれたことに感化され、自分なりの言葉で積極的に話しかけようと心がけ、言葉だけで伝わらなくとも指差したりジェスチャーやアイコンタクトを交えることを意識しました。そうすることで意図が伝わりやすくなり、最終的には台湾に着いて直ぐよりも楽しくコミュニケーションが取れるようになりました。

学外研修で学んだこと

台湾の病院ではデジタル化が進んでおり、患者のデータがクラウド上で共有されていました。それにより患者は診療カード 1 枚で身長体重の測定から問診待ち、薬の処方、支払い等院内のあらゆるサービスを利用することができると知りました。日本でもマイナ保険証の導入が進んでいることもあり、将来的に同様のシステムが取り入れられると人手不足解消や回転率向上によって、より良い医療サービスの提供に繋がるのかなと考えました。放射線科の見学では、Philips や日本のメーカーである島津・東芝等日本国内の病院で使われているものと同じメーカーの装置が使用されていることが分かりました。台安醫院では、NEWSTART という健康法が取り入れられており、施設内のスポーツジムや食堂の様子からも食事や運動に力を入れていることが伺えました。複数の病院を見学したことで、このような病院独自の取り組みも知ることができて良かったです。

観光&交流

研修内で有名な観光地を巡り現地の方と交流する中で、台湾で親しまれている食べ物や伝統的な料理、日本とは違った参拝の方法、台湾独自の言葉や言い回しなど、多くのことを知ることが出来ました。同世代間で流行しているものと同じであったり、似たような手遊びがあったりと、日常の中での共通点や微妙な違いも知ることが

できてとても興味深かったです。

まとめ

今回新竹國泰醫院・台安醫院と2つの病院を見学させていただき、日本との医療体制の違いや各病院での取り組みを学ぶことができました。また、7日間台湾に滞在する中で、歴史的な建物だけでなく街中の雰囲気でも日本との違いを肌で感じることができました。

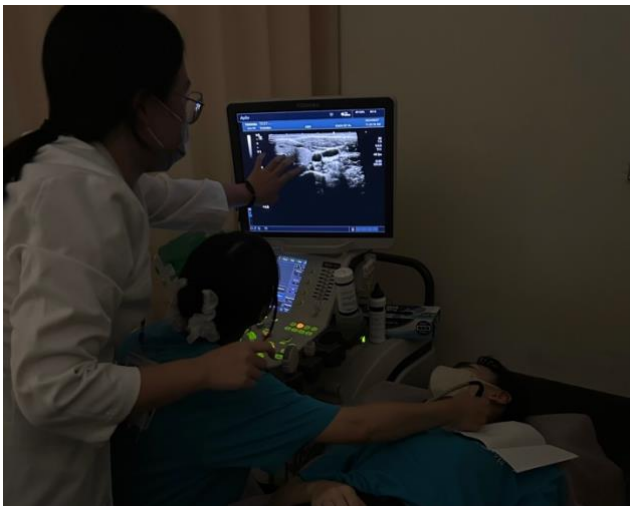
現地の学生との交流に関して、初めはなかなか難しかったですが、中盤からは意識して食事や移動の際に台湾の学生と一緒に行動し、英語も積極的に用いてコミュニケーションを取ることができました。

謝辞

まずはこのような機会を設けていただき様々な面で補助をしていただいた島津製作所、京都医療化学大学の教職員の皆様に感謝申し上げます。

また、受け入れていただいた培医事科技大学、新竹國泰醫院、台安醫院の職員の方や学生ボランティアの皆様のおかげで大変貴重な経験をすることができました。素晴らしい時間をありがとうございます。

この研修に参加したことで得た知識や経験をこれからの役立てていきたいです。



【学内でのエコー体験】



【中正記念堂】



【台湾の伝統料理】



【涙のお別れ】